

環境にやさしい水田農業の推進 (美浦そだち・光一点)

環境にやさしい農業への関心が高まる中、美浦村では、特別栽培米を中心に、環境にやさしいエコ農産物の生産に取り組んでいます。特別栽培米の生産に当たっては、平成21年度に実施した生産者聞き取り調査の結果に基づき、収量及び所得の確保、品質の維持を課題として取り組みました。

■ 栽培管理の徹底 ■

収量の確保・品質の維持を図るため、特に幼穂形成期の生育に着目し、適期に適量の穂肥が施用できる基肥量の設計について指導しました。現地検討会では、水管理や穂肥時期の確認など生育状況に合わせた栽培管理技術について指導しました。

平成22年度の平均収量は概ね目標の8俵/10aを確保することができ、千粒重（平均21.5g）、食味値（平均80）についても、目標を達成しました。



現地検討会



販売促進活動の様子

■ 販売促進活動 ■

販路拡大のため、関係者による協議や近隣スーパーでの生産者直売活動などのイベント等の販売促進活動を支援しました。また、販売促進活動の一環として、美浦そだち販促用のキャラクター設定を支援しました。

美浦村の水稲栽培者に対してエコファーマーの取得を推進し、新規に2名が認定され、合計40名となりました。また、23年度のエコ農産物栽培計画面積は、59.4ha（美浦そだち46ha＋光一点13.4ha）になりました。

■ 今後の課題 ■

産地の維持・発展には、一層の販路拡大が課題となっています。本年度実施した販路拡大に向けての協議結果をもとに、販売促進活動の強化を支援していきます。

栽培面では、食味・品質を維持しながら8俵/10aを確保するために、適正な施肥管理を徹底していきます。



「美浦そだち」キャラクター
(JA茨城かすみ)



「光一点」ロゴ
(JA稲敷)